

# 若者の発明光る

## 特許取得と大会入賞

三池工業高

大牟田市上宮町の三池工業高校の情報電子科3年の広松隆君(18)が車の盗難防止装置を発明し、特許を取得。電気科3年の岩下元稀君(18)も利便性を高めたドライバーを開発し、高校生技術アイデアコンテスト全国大会で佳作入賞を果たした。

広松君が発明した「ハンドルロックが解除される」というもの。1年生の時に海外で車の盗難が頻発していることを知り、発案。当初は指紋認証を取り入れることを考えたが、費用が高額になるなどの問題から、より安価で実現性の高いタッチセンサーを採用した。2年の時に独立行政法人工業所有権情報・研修館のバテントコンテストで入選し、特許出願支援を受けることができた。

### 盗難防止装置を 発明した広松君

昨年3月から特許申請し、装置の内容を練り直すなどして今年1月に特許が認定された。同校にとって2年連続、2回目の特許認定となる。

広松君は「認定を受けることができて本当に嬉しい。家族もとても喜んでくれた」と笑顔。装置については大手自動車メーカーの開発部も関心を持っているといい、「実用化されて自動車盗難の被害が無くなった。うれしいと思います」と話した。

電気科の岩下君が開発したのは「連射ドライバー」。小さな磁石と湾曲した



### 連射ドライバーを 開発した岩下君



金属板をドライバーの回りに取り付け、ねじを吸着するもの。これまでも磁石でねじをドライバーに吸着する製品はあったが、湾曲した金属板を取り付けることで、ねじを一方方向に並んで吸着させることができ、電動ドライバーでも使用できるといふ。

3年の課題研究の授業で、コンテストに向けて考えていたが、良いアイデアが思いつかず、放課後も一人で教室に残って考えを練った。思いついたのは10月

末の締め切り直前。偶然手近にあった金属製のメジャーを金属板として使い、作り上げた。同校の同コンテストでの入賞は6年連続、9回目になるという。

「入選してすぐうれい。今までにない視点からものを見ることができた。もうなくなった」と岩下君。4月からは関西電力に就職することが決まっております。この経験はこれからの仕事でも役立つと思う」と希望に目を輝かせた。

(矢野 大輔)

# 有明新報

THE ARIAKE SHIMPO

大牟田荒尾版

2019年(平成31年)  
2月23日  
土曜日